

議会報告会報告書

平成28年10月25日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

A 班

代表 矢田松夫

平成28年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成28年10月21日（金） 19:00 ～ 20:15

2 開催場所

高泊公民館

3 参加人数（市民）

3 人

4 担当班議員名

（ 矢田松夫 ）（ 河野朋子 ）（ 杉本保喜 ）（ 小野 泰 ）
（ 長谷川知司 ）（ 山田伸幸 ）（ 石田清廉 ）

5 報告会次第

（1） 市議会代表挨拶

（2） 9月議会の報告

① 総務文教常任委員会 （ 河野朋子 ） [司会]（ 長谷川知司 ）

② 民生福祉常任委員会 （ 矢田松夫 ） [記録]（ 山田伸幸 ）

③ 産業建設常任委員会 （ 杉本保喜 ） [受付]（ 石田清廉 ）

④ 一般会計予算決算常任委員会 （ 小野 泰 ）

⑤ 議会のあり方調査特別委員会 （ 石田清廉 ）

（3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

<総務文教常任委員会>

- ① 山陽オートの売り上げも減少しているのに、下の駐車場の利用者が少ない。今後どうするのか。

[回 答]

駐車場使用料が全体で900万円であり、対応については議会でも取り上げたが、回答は「検討はしていない」とのことであった。委員会として納得していないので、今後も取り上げていく。

- ② 市は、山陽オートの売り上げを伸ばすといっているが、景気も良くないのに本当に大丈夫か。

[回 答]

売上向上策について「現在協議中であり明言できない」との回答だった。今後も強く指摘していきたい。

<民生福祉常任委員会>

- ① 市民病院の診療の待ち時間を短くするために、患者の病状に応じた対応が必要ではないか。

[回 答]

診療窓口で、患者を一般診療、予約診療、他医院からの紹介などに分けていくよう経営者会議で意見を言うとのことである。

- ② 一般会計から2億9700万円を繰り入れているが、返さなくていいのか。市民サービスが滞りはしないか。赤字の原因は、医師が少ないからではないのか。

[回 答]

一般会計には返さなくていい。医師数を増やし収益を上げていくよう、委員会として意見を言っていく。

- ③ 子育て支援センターとして購入した建物は、適正な価格か。

[回 答]

国の所有物であった建物で、減額もあり相場より安い価格で購入した。

<一般会計予算決算常任委員会>

- ① 市立山口東京理科大学薬学部建設に120億円とは、高すぎないのか。市民に迷惑をかけないと言いながら大丈夫なのか。

[回 答]

国からの交付金を活用していけば、返済も十分やっつけていける。

<議会のあり方調査特別委員会>

- ① 議員定数は、なぜ22人なのか。25人ではいけないのか。

[回 答]

定数の決め方について一つの委員会が6人なら定数19人、7人で22人、8人なら25人が定数になるが、類似都市の定数や人口などを考慮し、22人でまとめたもの。

- ② 議員定数を減らすことより、議員定数を増やして市が活性化すればよい。そうなるように結果を見せてほしい。まちを発展させ、若者にも年寄りにも住みよいまちをつくって欲しい。

[回 答]

市民の期待に応えられるような議会をつくり、市民生活向上のために議会一同の力を尽くしていきたい。

- ③ 議員定数については正解がない。市民ではさらに根拠ある数値を言うことはできない。これで定数問題は終わりにして、市民のために頑張ってもらいたい。

<その他>

- ① 参加人数が3人では少なすぎる。増やすための改善策はないのか。

[回 答]

広報広聴委員会で検討し、6月議会報告会では子育て中の皆さんのところに出かけて、議会について報告し意見を聞いてきた。今後も、高校生や各種団体などに働きかけ、市民と議会を近づけていく努力をしていく。